

遠藤佑輔 学位論文審査要旨

主 査 島 田 美 樹

副主査 磯 本 一

同 長谷川 純 一

主論文

Pharmacokinetic interaction study of ranitidine and daijokito in healthy volunteers

(健康被験者におけるラニチジンと大承気湯の薬物動態学的相互作用の検討)

(著者：遠藤佑輔、石原巧貴、津野智史、松田明子、钱卫斌、三浦典正、長谷川純一)

平成28年 Yonago Acta medica 掲載予定

参考論文

1. Effects of kampo formulas on the progression of hypercholesterolemia and fatty liver induced by high-cholesterol diet in rats

(高コレステロール食によるラットの高コレステロール血症と脂肪肝の進展に対する漢方薬処方の効果)

(著者：钱卫斌、長谷川純一、津野智史、遠藤佑輔、松田明子、三浦典正)

平成26年 Yonago Acta medica 57巻 147頁～158頁

2. Ambroxol chaperone therapy for neuronopathic gaucher disease: A pilot study

(神経型ゴーシェ病に対するアンブロキシオールシャペロン療法：パイロット試験)

(著者：成田綾、白井謙太郎、板村真司、松田篤枝、石原亜紀子、松下久美、

福田千佐子、久保田智香、高山留美子、重松秀夫、林安里、熊田知浩、

弓削康太郎、渡邊順子、小杉沙織、西田裕、木村友伎子、遠藤佑輔、檜垣克美、

難波栄二、西村洋子、玉崎章子、戸川雅美、斎藤義朗、前垣義弘、大野耕策、

鈴木義之)

平成28年 Annals of Clinical and Translational Neurology DOI:10.1002/acn3.292

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、急性胃炎や胃潰瘍などの治療薬で、市販薬にも転用されているヒスタミン受容体遮断薬ラニチジンと、消化器疾患に用いられる漢方薬である大承気湯の薬物相互作用をヒトで検討したものである。すなわちラニチジンの単独投与時と比較して、大承気湯の常用量を単回併用しただけで、ラニチジンの最高血中濃度や、濃度-時間曲線下面積が大きく減少することを初めてヒトにおいて確認したものであり、併用処方に対する注意を喚起するものである。本論文の内容は、消化器疾患の薬物治療学の分野において、明らかに学術水準を高めたものと認める。